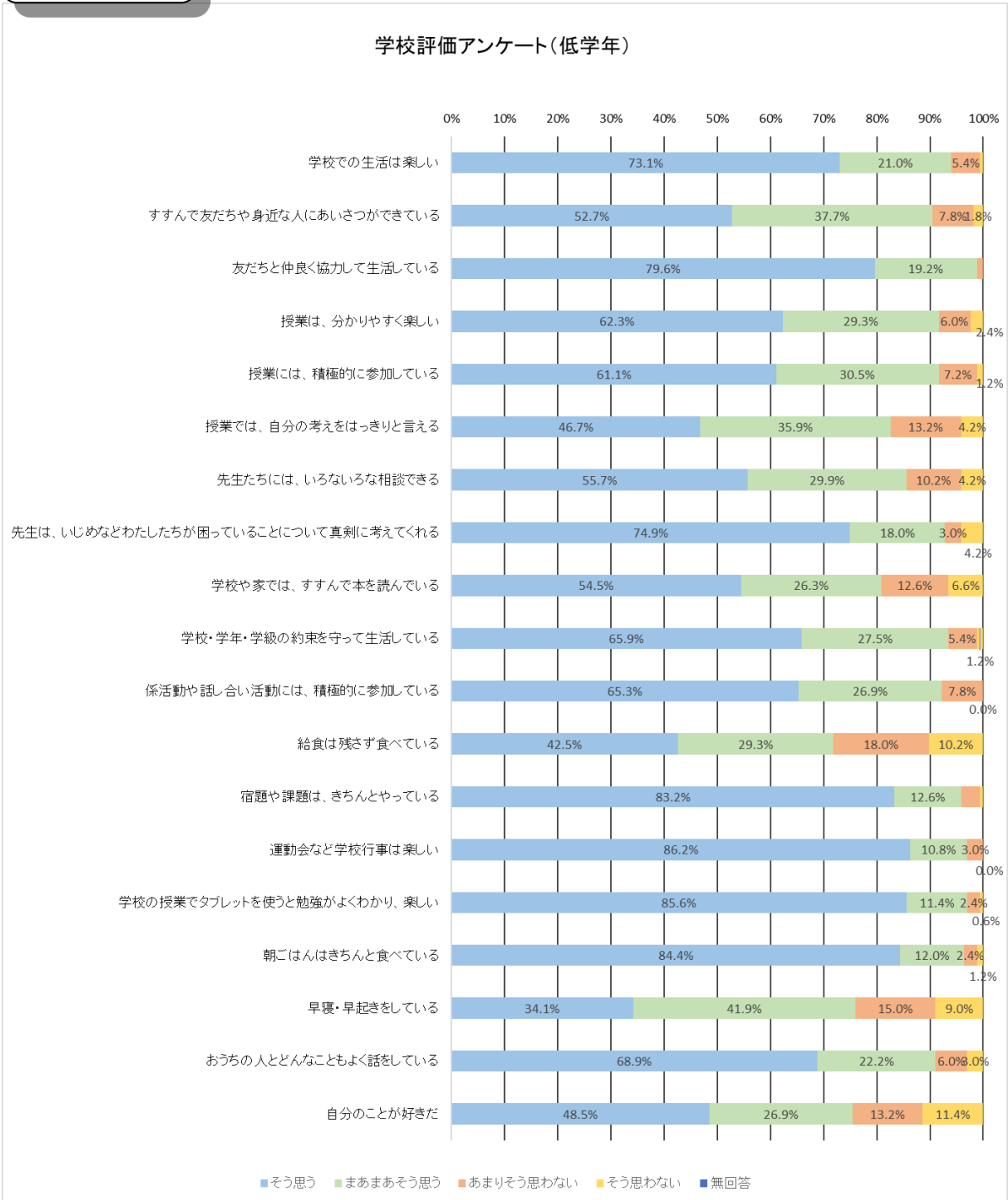


保護者の皆様へ

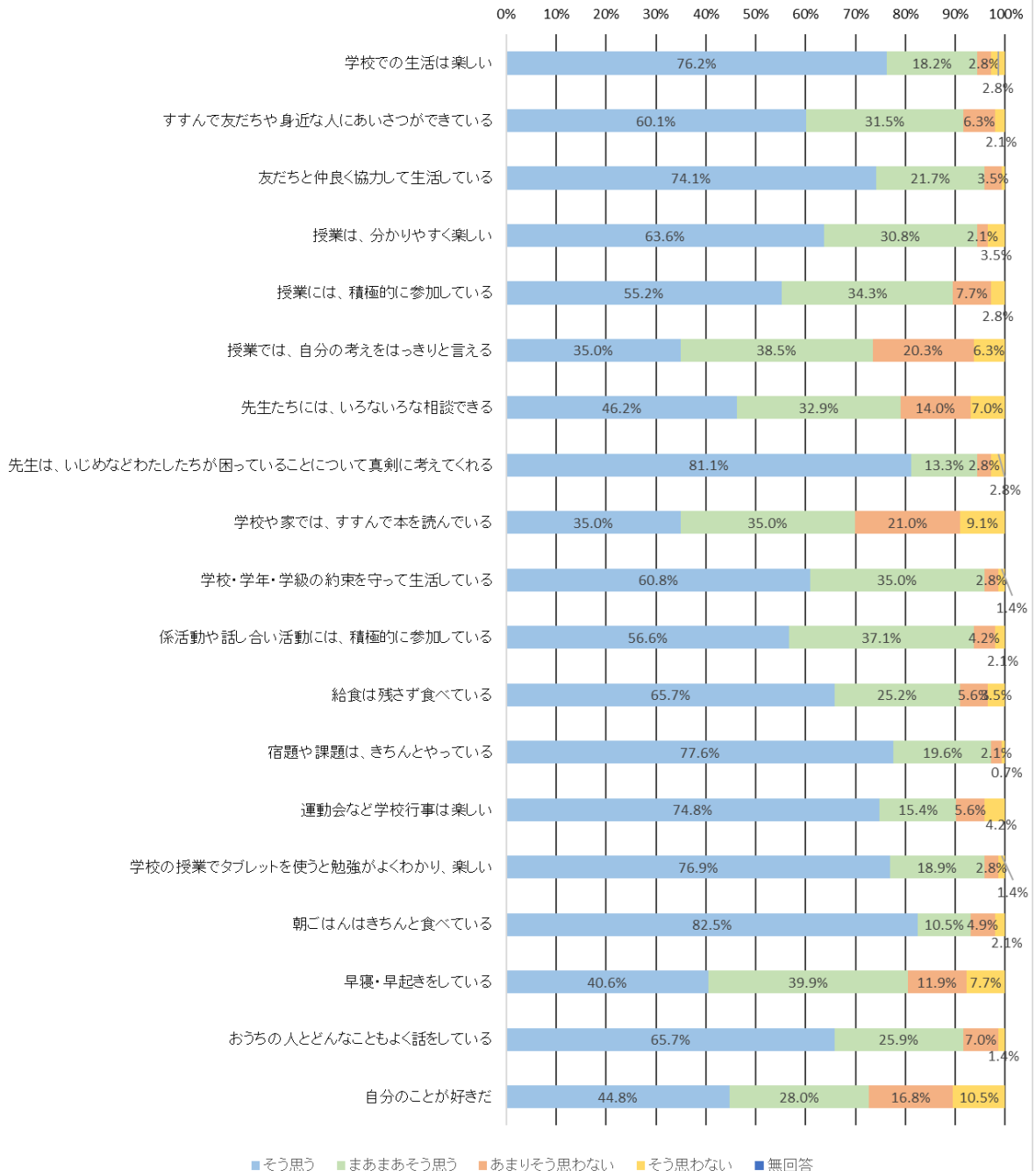
学校教育自己診断アンケートの結果について

低学年



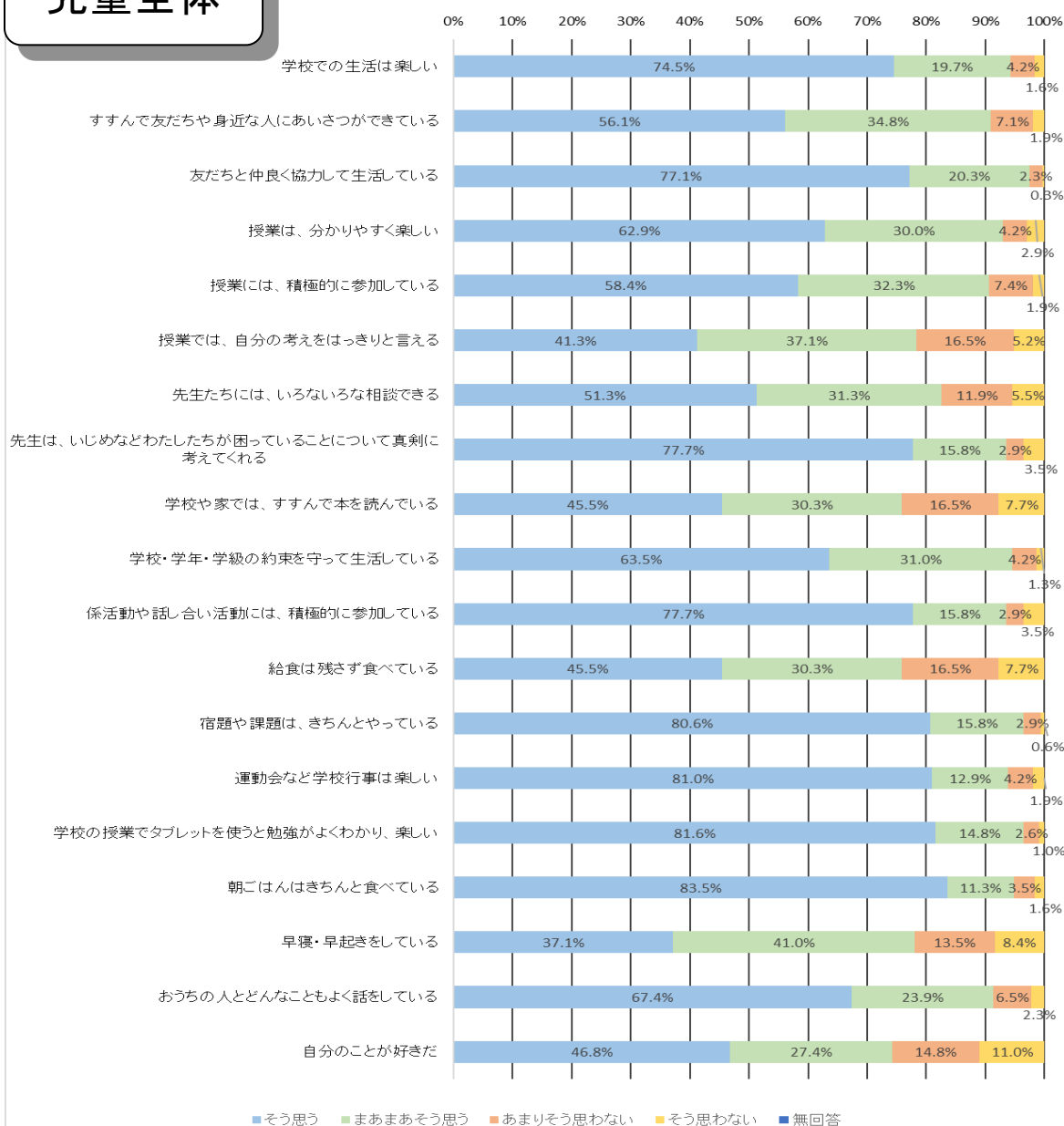
高学年

学校評価アンケート(高学年)



児童全体

学校評価アンケート(児童全体)



【児童アンケートより】

今年度は昨年度に比べると、高学年に関しては肯定的な意見の割合が高くなっています。

《昨年度より高くなった主な項目》

「友達と仲良く協力して生活している」「学校・学年・学級の約束を守って生活している」「運動会など学校行事は楽しい」

《昨年度より低くなった主な項目》

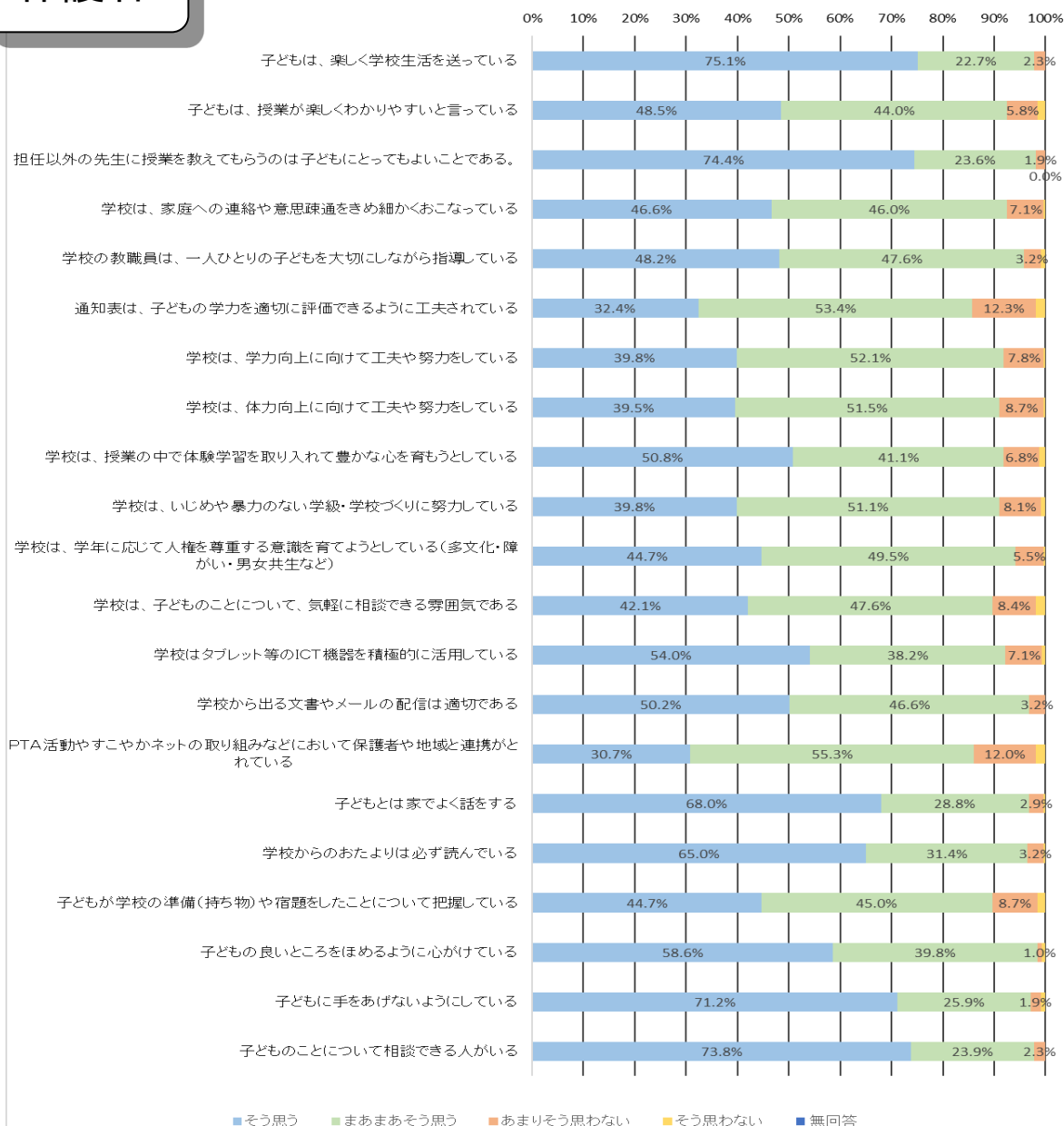
「授業には積極的に参加している」「すすんで本を読んでいる」「給食は残さず食べている」

友達と仲良くしたり、運動会などの学校行事を楽しんだり新型コロナウイルス感染症の影響で変化した学校生活にも少しずつ慣れてきた様子がうかがえる一方、授業に対して受動的であるという課題がありました。また、年々、本を積極的に読む児童の割合が低下していることも気になります。

来年度は、アンケートで明らかになった課題解決のため、さまざまな取組みを行っていきたいと考えています。また、子どもたちが主体的に学習できる授業づくりを推進するとともに、図書館司書や栄養教諭と連携した教育活動を展開していきたいと思います。

保護者

学校評価アンケート(保護者)



【保護者アンケートより】

今年度も、94.2%と非常に高い回収率でした。お忙しい中、アンケートへのご協力ありがとうございました。「そう思う」・「まあまあそう思う」を合わせた『肯定的意見』は、多くの項目で 90 ポイントを超えていますので、おおむね理解が得られているものと思われます。

特に増加したのは、「学校は、家庭への連絡…」(+6.2%)、「学校から出る文書を…」(+4.8%)でした。情報発信に関して、高く評価していただいており、日常の教育活動や児童の学校生活の様子を保護者の方に知っていただけますよう、一層努力していく所存です。

肯定的な意見が最も減ったのは「通知表は、子どもの学力を…」(-2.7%)でした。3観点での評価となり、子どもたちの頑張りが伝わりにくかったようです。保護者の皆さまに伝わるように説明の仕方等を工夫していきます。

今後とも、よりよい向陽台小学校をめざして取り組みを進めますので、これからも忌憚のないご意見をいただき、ご支援ご協力を賜りますようお願い申し上げます。ご報告と致します。